

第18週の発生動向 (2005/5/2~2005/5/8)

1. 咽頭結膜熱は、むつ保健所管内において引き続き**警報**が出されています。
2. 水痘について、五所川原保健所管内において**注意報**が出されました。
3. 弘前保健所管内のA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の警報は、**解除**されました。

第18週五類感染症定点把握

疾患番号・疾患名	青森		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	
(72) インフルエンザ	27	2.08	23	1.44	19	1.36	28	4.00	24	2.67	3	0.50	124	1.91	-209
(60) 咽頭結膜熱							1	0.20			5	1.25	6	0.14	3
(61) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	13	1.63	13	1.30	3	0.33	1	0.20	4	0.67	1	0.25	35	0.83	-46
(62) 感染性胃腸炎	35	4.38	22	2.20	11	1.22	4	0.80	6	1.00	7	1.75	85	2.02	-49
(63) 水痘	10	1.25	12	1.20	12	1.33	20	4.00	10	1.67	3	0.75	67	1.60	20
(64) 手足口病			2	0.20					1	0.17	1	0.25	4	0.10	-6
(65) 伝染性紅斑	11	1.38							2	0.33			13	0.31	-8
(66) 突発性発しん	6	0.75	8	0.80	4	0.44	1	0.20	3	0.50	1	0.25	23	0.55	9
(67) 百日咳															0
(68) 風しん															-1
(69) ヘルパンギーナ	2	0.25											2	0.05	0
(70) 麻しん(成人を除く)															-1
(71) 流行性耳下腺炎					4	0.44	3	0.60	1	0.17			8	0.19	-4
(73) 急性出血性結膜炎															0
(74) 流行性角結膜炎	2	1.00			2	1.00							4	0.36	0

保健所名	定点数				
	インフルエンザ (内科+小児科)	小児科	内科	眼科	基幹
青森	13	8	5	2	1
弘前	16	10	6	3	1
八戸	14	9	5	2	1
五所川原	7	5	2	1	1
上十三	9	6	3	2	1
むつ	6	4	2	1	1
合計	65	42	23	11	6

は警報
 は注意報
 「空欄」: 患者発生数0

表 以外の感染症法対象疾患 (17年計には、今回届出された人数を含む)

- (14) 腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患) 八戸保健所管内: 2人 (17年計 4人)
 (82) マイコプラズマ肺炎(五類基幹定点把握疾患) 八戸保健所管内: 1人 (17年計 37人)

感染症の窓

流行性耳下腺炎(ムンプス)

流行性耳下腺炎は、3~6歳を中心とした小児に好発するムンプスウイルスによる感染症です。患者数の経年変化をみると4~5年毎に流行をくり返す傾向がみられます(図参照)。これから初夏にかけて全国的に流行する可能性がありますので、今後の動向に注意が必要と思われます。

図 流行性耳下腺炎の発生状況

